国立国語研究所学術情報リポジトリ

『会話から人間を探る！悪態と慇懃無礼、どっちがポライトなの？：BTSJ自然会話コーパスの分析とその教材化』

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-06-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宇佐美, まゆみ メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003397

『会話から人間を探る！悪態と慇懃無礼、どっちがポライトなの？ ―BTSJ自然会話コーパスの分析とその教材化―』

宇佐美まゆみ（国立国語研究所）

1.はじめに

- 国立国語研究所『BTSJ日本語自然会話コーパス（トランスクリプト・音声）2018年版』とは，シナリオのない自発的な自然会話を，母語場面，接触場面の初対面会話，友人同士の会話，教師と学生の論文指導場面等のサブ・グループごとに，年齢や性を条件統制して収集した会話データをまとめたものである。
- 1会話20分程度の会話，333会話（約79時間）が収録されている。
  ☞オンラインからの申請者に無償配布　https://ninjal-usamilab.info/lab/btsj_corpus/
- 総発話文数104,489文，総語数920,169語，異なり語数13,331語，話者数（延べ666人，異なり43人）である。
- ここでは，『BTSJ日本語自然会話コーパス（トランスクリプト・音声）2018年版』を紹介するとともに，本コーパスを利用した研究の一例として，悪態と慇懃無礼について，ポライトネス理論の観点から論じる。また，自然会話のWEB教材化についても触れる。

2.基本情報

表1『BTSJ日本語自然会話コーパス（トランスクリプト・音声）2018年版』に収録されている会話データの概要

会話の通し番号	会話グループ番号	会話グループ名	各グループのデータの特徴	各グループ内のデータ数	各グループの総会話時間	音声の有無
001-019	1	親しい同性友人同士（男女）の雑談	同性の友人同士の会話	19会話	444分24秒	無
020-042	2	初対面と友人同士の女性の雑談	女性の、親しい友人同士と初対面の会話	23会話	482分5秒	無
043-052	3	論文指導	教師と学生の面談の会話	10会話	311分	無
053-091	4	女性同士の断りの電話会話	ある学生（女性）をベースに、電話で、先輩・同輩・後輩に依頼の電話をかけた会話	39会話	78分31秒	有

会話グループ23まであるが、（後略）

3.会話データとその文字化

会話から人間を探る！
悪態と慇懃無礼、どっちがポライトなの？

003-01-JM005-JM006より

ライン番号	発話文番号	発話文終了	話者記号	発話内容
339	314	＊	JM006	で、段々だるくなってきてさ<笑いながら>(うん)、ま、部活はまあまあやってたけど(うん)、成績なんてのは、もう、模試すら受けなくなって(うん)、もうぼろくそんなってて(うん)、そんとき、高1の終わりぐらいから付き合ってた子だけども(ほー)、段々段々それに、もうむかっ腹が立ってきて(うん)、(<笑い>)“何なの?、これは”みたいに<笑いながら>=。
340	315-1	/	JM005	=それで、なに、お前から別れ,,
341	316-1	/	JM006	<毎回>{<},,
342	315-2	＊	JM005	<話とか>{>}した<の?>{<}。
343	316-2	＊	JM006	<いや>{>}、毎回、会う度に、なんか、そういうお説教されて、おれ。
344	317	＊	JM005	うん。
345	318-1	/	JM006	お説教(<笑い>)なさって,,
346	319	＊	JM005	なん<だよ>{<}<笑いながら>。
347	318-2	＊	JM006	<それ>{>}“あーそうですね”とかいって、<聞いて>{<}。
348	320-1	/	JM005	<それで>{>}、お前からもう,,
349	321-1	/	JM006	<いや>{<},,
350	320-2	＊	JM005	<バイ>{>}バイっつった?[↓]。
351	321-2	＊	JM006	おれか、おれからじゃないな。

（中略）

541	498	＊	JM006	でもね、あんま気が合わない人は(うん)、離れてくよ=。
542	499	＊	JM006	=だから一、言葉遣いとかも一(うん)、初めはね、おれのこと“「JM006あだ名」”とかいって(うん)、なんか、軽口たた、きあってんだよ、おれも。
543	500	＊	JM005	うん。
544	501	＊	JM006	ばーんとか頭ぶったりとか。
545	502	＊	JM005	うん。
546	503	＊	JM006	逆に、そういうことなくなるんだよ<笑いながら>。
547	504-1	/	JM005	<え、そしたら何?>{<},,
548	505	＊	JM006	<じ、事務的な>{>}会話になるんだよ。
549	504-2	＊	JM005	「JM006姓」く一んとか?。
550	506	＊	JM006	や、そうじゃないけど、ま、「JM006あだ名」とは言うけど(うん)、普通になんか、事務的な会話になって、だから、“この「学科」の、語劇なんだけど(うん)、これどうする一?”とか。
551	507	＊	JM005	<普通じゃん>{<}。
552	508	＊	JM006	<“こ、この>{>}、このパートを担当してもらえる?”とか。
553	509	＊	JM005	超普通じゃん。
554	510	＊	JM006	い、今までだったら(うん)、“じゃ、「JM006あだ名」もうこれ”とかいって(うん)、“決定、はい、練習(うん)してきて、パーン、パーン”だったのに。
555	511-1	/	JM005	一回そこまで<仲良くなってから一>{<},,
556	512	＊	JM006	<そうそう、仲良く>{>}なってから<笑いながら>。
557	511-2	＊	JM005	また、そういう普通の関係になるの辛いよな。

4.ポライトネス理論

ブラウンとレビンソンのポライトネス理論

「フェイス」という鍵概念

人間には、２種類の基本的欲求がある。

ポジティブ・フェイス(positive face)

他者に理解されたい、好かれたい、賞賛されたいという欲求（プラス方向）

ネガティブ・フェイス(negative face)

賞賛されないまでも、少なくとも、他者に邪魔されたり、立ち入られたくないという欲求（マイナス方向）

☞ポライトネス は、対話者のこの２種類のフェイスを保つためのストラテジーとして規定されるとした。

フェイス侵害度見積もりの公式

$$Wx = D(S, H) + P(H, S) + Rx$$

Wx:行為ｘの「フェイス侵害（FT）の度合い」

D: 話し手(Speaker)と聞き手(Hearer)の「社会的距離（Social Distance)」

P: 聞き手(Hearer)の話し手(Speaker)に対する「力(Power)」

Rx: 特定の文化で、ある行為ｘが「相手にかける負荷度(Rank of imposition)」

5.ディスコース・ポライトネス理論

(De 値)	−1	−α	0	+α	+1
見積もり差（De値）の範囲	−１≦De＜−α	−α≦De≦＋α	＋α＜De≦＋１		
行動の適切性	過少行動（無礼）	適切行動（適切）	過大行動（慇懃無礼）		
ポライトネス効果	マイナス効果	プラス効果 ニュートラル効果	マイナス効果		

見積もりの不一致：De値　= Se - He

Se:　話し手側（Speaker）から見た「話し手の行為のフェイス侵害度」の見積もり(estimate)
　　仮に、0から1までの数値で表すことにする

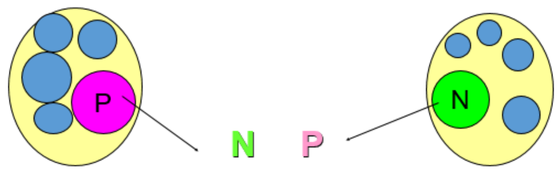
He:　聞き手側（Hearer）から見た「話し手の行為のフェイス侵害度」の見積もり(estimate)
　　仮に、0から1までの数値で表すことにする

α：許容されるずれ幅

「見積もり差（De値）」・「行動の適切性」・「ポライトネス効果」

ディスコース・ポライトネス理論（宇佐美,2002）

・日本語の会話におけるスピーチレベルシフト



初対面の会話

無標スピーチレベル
＝敬体

有標行動＝常体の使用

友達や夫婦間の会話

無標スピーチレベル
＝常体

有標行動＝敬体の使用

DP デフォルトからの離脱行動としての「有標行動」が生み出す「ポライトネス効果」

宇佐美まゆみ(2002) 連載「ポライトネス理論の展開（1-12)」『月刊言語』31(1-5、7-13)、大修館書店

6.自然会話を素材とする教材（画面イメージ）

指導可能な現象　この7発話中にも…

- スピーチレベルシフト
- 隣接応答ペア（2重構造）
- 同一話者の同一相手に対する「はい」、「うん」、「はーい」



7.謝辞

本研究は，国立国語研究所の機関拠点型基幹研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」サブ・プロジェクト（リーダー：宇佐美まゆみ），およびJSPS科研費18H03581「語用論的分析のための日本語1000人自然会話コーパスの構築とその多角的研究」（研究代表者：宇佐美まゆみ）の成果の一部である。